

小学校四年のクラスのマドンナの家や、
小学校三年から六年まで一緒だった
双子の女の子の家の前も通った。

昔なら、「遊ぼう！」と言って、
簡単に自分から入って行った家だ。

今でも家の中の造りは覚えている。
昔の、幼い女の子が、
家の中にある姿を頭に浮かべた。

僕に、勇気があり、いきなり、
この歳で、「遊びに来た。」と言ったら、
どう思うやろかなあと考えた。

馬鹿にされそうで、その気にはなれなんだ。
それにしても、なつかしい家並みだ。

そして、紫野小学校の校門の前まで来た。

小学校五年になり、組換え発表の日の、
あのマドンナの姿を思い出した。
あの子が校庭に立っている姿を思い出した。
校庭に入って見て、しばらく、その場所に立って、
まわりを見ていた。

野球仲間達の家の前も見てまわった。
家の前にちょっと立ち止まったが、そのまま、
「今日は、声をかけないで行こう」と、素通りした。



375